

山毛櫨(ぶな)の子 野沢温泉学園だより第4号

～子どもたちが、ブナ（村木）の若葉のごとく、力強くたくましく伸びてほしいとの願いを込め～

令和3年度 野沢温泉中学校の教育方針

マスクを付け、お互いの距離をとりながら、野中祭に向けた合唱練習がはじまりました



1 With コロナの学校生活再開にあたり

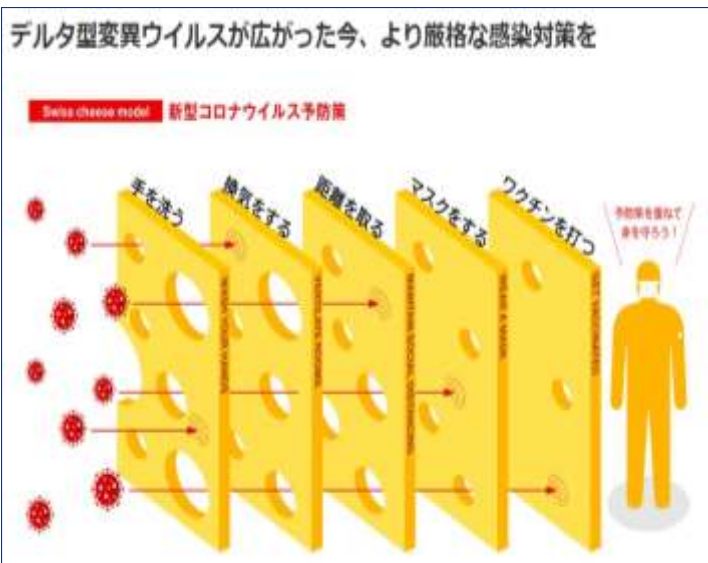
8月19日、2学期が始まりました。

久しぶりの再会をよろこび合いながら、校舎のあちこちに、楽しそうな声と笑顔があふれるスタートとなりました。

始業式の校長講話では、右のスライドを見てもらいながら、安全で安心な学校生活を送るために大切なことを確認しました。

右の図は「スイスチーズ・モデル」という、危機管理の分野にある考え方を、現在の新型コロナウイルス感染症予防に当てはめたものです。穴の開いたスイスチーズのように、ひとつひとつの感染予防策は完璧とは言えないかも知れませんが、スイスチーズの枚数（感染予防策の数）を増やし、それらひとつひとつを徹底して行うことで、予防効果を高めることが出来る様子を示しています。

2学期が始まって早々に、長野県から「医療非常事態宣言」と「感染警戒レベル5」が出されるなど、これまで以上に心配な状況が続きます。マスクの着用、30秒間の手洗い、常時換気など、昨年度から取り組んできたことを、再度確認・徹底しながら、安全・安心な学校生活を送れるようにしていきたいと思えます。

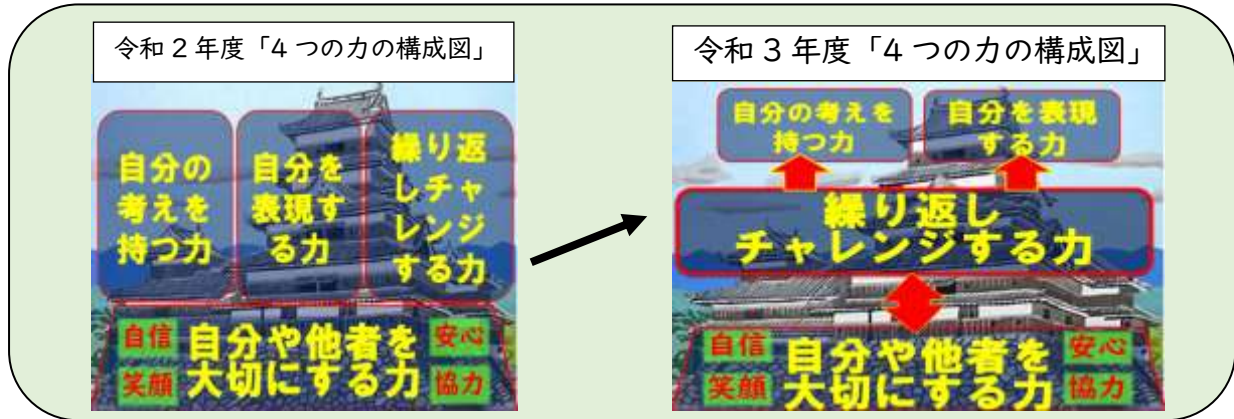


出典：kutsuna@hp-infect.med.osaka-u.ac.jp

2 令和3年度 野沢温泉中学校の教育方針

～2 学期後半、そして来年度に向けた校長の「願い」と「問い」～

- ◆もっともっと子どもたちの可能性に期待し、信頼して、任せてみたい。
 - ◆子どもたちが『繰り返しチャレンジする機会』を私たちは与えてきただろうか。
 - ◆教師主導の授業から、『学び合い』を取り入れた生徒主体の授業づくりが進められているだろうか。
- 令和2年10月14日職員会議資料より



令和2年度に示した、学校で大切にしたい「4つの力」について、昨年度2学期末の生徒アンケート結果からは「過半数の生徒が『繰り返しチャレンジする力』を伸ばしたいと願っている」ことが分かりました。そこで、令和3年度は「繰り返しチャレンジする力」を中核に据えて「4つの力」を再構成することとしました。

先生方には、各教科の授業はもとより、学校行事、生徒会活動、部活動などで「繰り返しチャレンジする場の充実」を図っていくことをお願いし、取り組んでいます。

1学期末の生徒アンケートには「繰り返しチャレンジする力」について振り返った、次のような生徒の感想がありました。

- ・自分が出来ないと思っていても、繰り返しやっていたら出来るようになって、自分は出来ると思え自信ができました。(2年生)
- ・いくらやっても出来ないことはあるし、ほんの少しでも成長することはあるって言う2つのパターンがちゃんとあることが分かった。(3年生)

繰り返しチャレンジすることで「自己理解」を深め、生徒の「自律した学び」を育てることが期待されます。今後も「繰り返しチャレンジする力が伸びる野沢温泉中学校」を目指していきたいと思えます。



今回は、中学校の様子についてお伝えしましたが、私たちは「野沢温泉学園の中学校」ということを、これからも大切にしていきたいです。

左の写真は、6月の学園授業研究会の共同参観授業「ぬのををつないで(小3図工)」に向けて、小中の先生方が「児童になりきって、授業を体験している様子」です。(模擬授業)

一人一人の子どもに寄り添った授業や支援を充実させていけるよう、これからも、こども園、小学校、中学校が連携して、野沢温泉学園の教育を進めていきたいと思えます。